

報道関係者 各位

平成30年1月29日

【照会先】

関東信越厚生局 地域包括ケア推進課
地域包括ケア推進課長 懸上 忠寿
地域包括ケア推進官 齊藤 隆之
電話 048-740-0793 (代表)

地域包括ケアを実現する新たなまちづくり 「マッチングイベント・PR大会」登壇者決定のお知らせ

関東信越厚生局では、地域包括ケアシステムの構築を推進する観点から、(株)ニッセイ基礎研究所が行う調査研究事業（委員長：秋山弘子 東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授）に連携して、自治体と大学・企業等を結びつけるマッチング事業（概要は別添のとおり）に取り組んでいるところですが、過日お知らせした「マッチングイベント・PR大会」につきましてPRセッションへの登壇者が、この度、同研究所のホームページにて公表（下記リスト）されましたのでお知らせします。

1 PRセッションの登壇者

自治体等
中野区
志木市
富津市
一般社団法人全国住宅供給公社等連合会

推進パートナー
埼玉県立大学
東邦大学
クオール株式会社
ハウス食品グループ本社株式会社
株式会社JTB

※各登壇者のPR内容は別紙1のとおり。

2 「マッチングイベント・PR大会」開催概要（別紙2のとおり）

3 傍聴案内

- 傍聴を希望する場合は、別紙3の応募用紙により、本年2月20日（火）までに送付先宛てにFAXにより事前登録をお願いします。
- 当日は、登壇者以外の本事業に参加登録された者のポスター展示等による活動紹介も予定していますので、こちらもご覧ください。

地域包括マッチング事業「マッチングイベント・PR大会」 登壇者一覧

自治体等	
自治体等	PR内容
中野区	中野区では、平成28年度に「中野区地域包括ケア推進プラン」を策定し、地域包括ケアシステムを推進している。その中で特に大学・企業等と連携し取り組みたい事項は、以下のとおり。①介護予防の観点から、高齢者の「栄養」に関する課題分析とそれに向けた事業の展開 ②MCI(軽度認知障害)の人を発見するための方策と、MCIの人を対象にした事業の展開 ③グリーンケア事業の構築
志木市	当市では、あらゆる地域資源を活用し、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で生活を継続することができるまちづくりを推進するため、「地域包括ケアスタートアッププログラム」を策定し、市役所全体で推進しています。平成30年度は、健康・医療・介護分野だけでなく、まずは全世代に関わるあらゆる地域活動を活性化するための取組みを行います。民間の視点を活かした幅広い提案をお待ちしております。
富津市	当市では人口減少と少子高齢化が進行し、商店や医療機関等の社会資源が乏しい。地域の助け合い活動を把握し、足りない活動を創出するため、市等が活動しているが、十分な成果に結びついていない。そのため、若い人を中心に、生活支援コーディネーターとして精力的に活動してくれる団体を募集したい。具体的には、月1回程度、各地区で会議を主催し、上記課題解決へのコーディネートをしてほしい。活動費用については要協議。
一般社団法人 全国住宅供給公社等 連合会	住宅供給公社は、中堅所得層向けに賃貸住宅及び分譲住宅を建設、供給してまいりました。高度成長期の人口流入に対応して建設した郊外立地の大規模団地やニュータウンにおいて、高齢期を迎えた皆様が安心して住み続けられるよう、見守りや家事援助等の生活支援サービス、介護予防サービスの提供が求められています。団地によっては、公社が所有する賃貸店舗、住宅付属の集会所等のスペースがあり、団地内や周辺にお住いの方向けのサービス提供の拠点として、あるいはイベント等の開催場所としてご活用いただくことができます。当連合会の会員公社の一部では、団地内居住者や地域住民の皆様向けの生活支援等のサービスや地域コミュニティの活性化につながる事業の展開に向け、自治体様と連携した取組みを求めています。

大学、企業	
大学・企業	PR内容
埼玉県立大学	<p>本学は、地域貢献を果たすべく、①保健医療福祉分野の人材育成、②地域包括ケアに関する研究・事業に注力し、その一環として、①地域包括ケア計画策定、②在宅医療・介護連携推進等の事業展開、③地域ケア会議の運営等の支援を行い、市町村のニーズに応じた伴走型支援を図って参りました。こうした活動を通じて得られたノウハウを生かし、公立大学として、地域特性に応じた「地域づくり」に貢献していきたいと考えております。</p>
東邦大学	<p>本学は2014年度から文部科学省の「地域での暮らしや看取りまで見据えた看護が提供できる看護師の養成」事業に取り組んできた。今回はその成果物(下記に示した「物」と「人」)をできるだけ多くの方に活用していただき、さらなる課題に取り組む機会としたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.「いえラボ」:地域包括ケアを看護師に限らずさまざまな方々と学び合える「いえ」 2.「いえラボ」で学んだ仲間たち:医療(看護)と福祉(介護)の連携の面白さを知った仲間
クオール株式会社	<p>当社では厚労省が推進している健康サポート薬局の適合店が中心となり、地域ケア会議への参画はもちろんのこと、セルフメディケーション推進、介護・疾患予防の啓発活動、子育て世代を支援する子育て大学開催等に積極的に取り組んでおります。地域ケアシステムにおける情報収集・発信源として、民間企業、医療・介護福祉関係者、行政機関、学校関係者、地域の生活者の橋渡し役としての機能を果たしていくことが可能だと考えます。</p>
ハウス食品グループ 本社株式会社	<p>■地域住民への取組内容</p> <ol style="list-style-type: none"> ①「大人の食育コンテンツ」の提供: 多忙な中年代から高齢者まで、各性年代に必要な栄養情報や、調理技術など、「今さら人に聞きにくいけれど、高齢社会に生きるにあたって知っておいた方が良い食情報」を、イベント等で定期的に発信し、地域住民の健康意識を活性化します。 ②「コミュニティ(拠点)」の活性支援: 食イベントを通じて、地域内のボランティアやNPO、地域事業者の方々が連携するプログラムを提供し、多機能が支え合うコミュニティ作りを支援します。 <p>■行政へのご支援内容</p> <ol style="list-style-type: none"> ③「人生100年時代」に求められる、「誰でも何歳でも、地域で働く場のある、暮らしやすい街づくり」のコンセプト開発を支援します。生活課題の調査を実施し、行政計画に資する分析データを提供します。
株式会社JTB	<p>当社では、社会課題解決型事業として、ヘルスケア事業を展開し、5つの領域(地域包括ケア、ヘルスツーリズム、日本版CCRC、地域健康増進、ヘルシーカンパニー)でのソリューション開発に取り組んでおります。</p> <p>地域包括ケアにおいては、生活支援サービスとして、高齢者向けの定額タクシーサービスや、ヘルスツーリズムを活用した健康増進、介護・フレイル・認知症予防などへのサービス提供が可能です。</p> <p>また各領域は互いに関連しあい全体的に取り組むことでシナジー効果が見込まれるため、自治体様の「健康まちづくり」の総合政策として地元企業とも連携をしてエリアマネジメントに貢献していければと考えております。</p>

「マッチングイベント・PR大会」開催概要

1. 日時：平成 30 年 2 月 27 日（火） 12：45～17：15（開場 11:00）
 2. 会場：さいたま新都心合同庁舎 1 号館「2 F 講堂」（定員：240 名）
（埼玉県さいたま市中央区新都心 1-1）
 3. 対象：管内自治体、大学、社会福祉法人、医療法人、民間企業、NPO 法人等
 4. プログラム
- 11:00 会場オープン・受付開始・・・★ポスター展示
（会場内において、登壇者及び登壇者以外の本事業へ参加登録された自治体、大学、企業等によるポスター展示を含めた活動紹介を行います。）
-
- 12:45 開会
■開会挨拶 北窓隆子（関東信越厚生局長）
- 12:50 《第 1 部》鼎談（45 分）
＜テーマ＞産官学協働の創り方～柏プロジェクトの経験を踏まえて（仮）
秋山弘子（委員会委員長、東大高齢社会総合研究機構特任教授）
辻 哲夫（委員会委員、東大高齢社会総合研究機構特任教授）
木村清一（東京大学高齢社会総合研究機構客員研究員、元柏市保健福祉部長）
司会：町 亞聖（委員会委員、フリーアナウンサー、元日本テレビアナウンサー）
- 13:35 《第 2 部》PRセッション
■進行 町 亞聖
- 13:40 i) 自治体からの PR（100 分）
【4 自治体等】登壇（1 自治体につき PR・説明 15 分＋質疑応答 8 分）
①中野区 ②志木市 ③富津市 ④（一社）全国住宅供給公社等連合会
- 15:20 休憩・・・★ポスターセッション（20 分）
- 15:40 ii) 地域包括パートナー候補からの PR（75 分）
【5 推進パートナー】登壇（1 パートナーにつき PR・説明 13 分）
①埼玉県立大学 ②東邦大学 ③クオール(株)
④ハウス食品グループ本社(株) ⑤(株) J T B
- 17:15 閉会
★ポスター展示（自由閲覧）（最大 17:30 まで）

送付先 関東信越厚生局 地域包括ケア推進課
FAX 048-601-0512

別紙3

<マスコミ用>

地域包括ケアを実現する新たなまちづくり
「マッチングイベント・PR大会」応募用紙

標記イベントの傍聴を希望します。
また、下記の留意事項を遵守します。

1. 御社名及び担当者の連絡先をご記入ください。

社名		
連絡先	担当者氏名	
	電話番号	
	FAX番号	
	E-mail	

2. 傍聴者の氏名等をご記入ください。

氏名	所属・職名	希望 (○を記入願います)	
		カメラ 撮り	傍聴 のみ

記

【留意事項】

- 1 事務局の指定した場所以外に立ち入ることはできません。
- 2 アラーム付きの時計、携帯電話等、音の出る機器については電源を切るか、マナーモードに設定してください。
- 3 あらかじめ申し込んだ場合に限り、カメラ撮り（ビデオ撮影・写真撮影）をすることができます。
- 4 その他、事務局職員の指示に従ってください。

「地域包括マッチング事業」^注の全体概要

別添

注:平成29年度老人保健健康増進等事業 (ニッセイ基礎研究所)

「地域包括ケアに関するニーズ・困りごと」がある自治体と、「地域包括ケアに貢献できること」がある大学や企業等とを結び付ける機会を提供。

